

開会（11：17）

○池谷和正委員長 それでは、ただいまから予算決算審査特別委員会を開会いたします。

当委員会に付託されました案件は、議第55号「令和6年度焼津市一般会計補正予算（第13号）案」及び議第56号「令和7年度焼津市一般会計補正予算（第1号）案」の2件であります。2議案は関連がありますので、一括して審査を行います。

それでは、質疑、意見のある委員は御発言をお願いします。

○藤岡雅哉委員 歳入歳出で二拠点居住等促進事業補助費ということで、歳入が850万円、歳出が1,500万円ということで、委託料ということですので、こういった事業者に対して具体的に何の委託をされて、焼津市としては何を狙っていくのか、御説明をお願いいたします。

○藤野 大政策企画課長 業務委託の内容とどういった先に委託するかということだと思います。最初にお答えさせていただきます。

まず1つが、スタディツアーの開催というものを予定してございます。

これは、都市圏の会社の経営層を対象にして、市内の企業あるいは経営者の皆さんと交流していただいて継続的なつながりをつくっていくと、そして、積み上げることによって新たなビジネス地として、焼津市を2地域居住として選んでいただけるような、そんなような取組をしているものがございます。

委託先の事業者は、今、考えているのは、商工会議所から、都市圏のそういった経営層とネットワークがされているというか構築されている、そういった企業の方に委託したいというふうに考えてございます。

それから、もう一つが、都市圏から何回も焼津市に来ていただきますと、やっぱり交通費の負担がかかりますので、そういった交通費の負担軽減や、それから、こちらで宿泊していただくような経費の負担軽減ということも実証として行っていきたいというふうに考えております。これは、対象は、先ほど言ったスタディツアーの参加者を対象としておりまして、こういった交通費と宿泊費をパッケージしたような商品が検討できないかということを実証するものでございます。

こちらの業務委託先につきましては、旅行のエージェントさんのような事業者に委託したいというふうに考えてございます。主にはそんなような内容となっております。

最後に、焼津市として狙っているということだったと思いますが、この2地域居住は、地方創生ということで、都市圏から地方への人の流れを変えるという大きな目標の中で、私たちが今、考えているのは、地域における担い手の確保だったりとか、コミュニティーの活性化であったりとか、または、地域に新しい仕事が生まれたりとか、それから経営層の皆さんがこちらに来られたときに、例えば、焼津の本当においしい食を堪能していただいたりとか、消費していただいたりとか、そういった経済効果のことを期待しているものでございます。

以上でございます。

○藤岡雅哉委員 詳細が分かりましたけれども、1個気になるすると、タイトルが、事業の名前のつけ方が二地域居住等促進事業費ということですので、狙いの中にちょっと

そこが薄かったのかなと思ったので、そこはいかがですか。

○藤野 大政策企画課長 今回の国の補助事業につきましては、あくまでも先導的なプロジェクトの実装事業という形で御承認をいただいているというものでございます。

また、この二地域居住の制度というものは、令和6年度に法律が一部改正されて、具体的に国もいろんな取組を通して実績をつくっていかうところを狙っているところがあるものですから、市としても、まだ促進という形になってございます。

以上でございます。

○池谷和正委員長 ほかにありますか。

○鈴木浩己委員 防災機器費の避難所環境改善事業費7,600万円のラップ式トイレですとか、テントとか、あとはシャワーというふうに御説明がありましたが、ちょっと内訳をお教えいただければと思います。

○八木隆之地域防災課長 自動のラップ式トイレを165基、それから、簡易トイレ用のテントを172基、循環型シャワーキットを2、大型の炊き出し機を3基予定しております。以上です。

○鈴木浩己委員 それで、ラップ式トイレ165基の配備先をお教えてください。

○八木隆之地域防災課長 中学校9校、地域交流センター9か所、それから、コミュニティ防災センター17か所などに配備を予定しております。

以上です。

○鈴木浩己委員 今回、165基、ラップ式トイレが配備されますけれども、これを合わせますと、市内の避難所へ配備できるラップ式トイレの基数というか、それをお教えてください。

○八木隆之地域防災課長 既存が39基ございますので、今回の165基と合わせて204基になる予定でございます。

以上です。

○鈴木浩己委員 分かりました。

そうすると54指定避難所に大体4基ずつぐらいの配備予定になる感じですかね。ちょっと教えてください。

○八木隆之地域防災課長 今回が165基ということで、全ての避難所にまだちょっと行き届かないところがありますけれども、それにつきましては、また今後も、国や県の補助制度を活用しまして、計画的に整備を進めてまいりたいと考えております。

以上です。

○鈴木浩己委員 ぜひよろしくお願いいたします。

このラップ式トイレを、自分の家にも買ったんですけども、フィルムカセットというのを、ビニールで大小のものを包み込むものなんですけれども、大体50回で終わっちゃうようなフィルムカセットというのがあるんですけども、そういうのも相当やっばりたくさん備蓄しておかないと厳しいのかなというふうに思うんですが、そちらの備品としては、どんな配備計画を持っていらっしゃるか、お教えてください。

○八木隆之地域防災課長 今回の購入と併せまして、1基当たり250回分のフィルムとい

いますか、物を併せて購入したいと考えております。

以上です。

○鈴木浩己委員 分かりました。

大災害になって、やっぱりそういうフィルムカセットなんか、幾ら軀体はあってもフィルムがないと何ともならないものですから、もっともっと多めにやっぱり備蓄をしておいたほうがいいのかなというふうに思われますので、ぜひその辺も御配慮いただきますようによろしく願いいたします。

以上です。

○池谷和正委員長 それでは、次に。

○岡田光正委員 それでは、15ページの元小浜地区生活支援事業費500万円、これは令和7年度の予算へ補正ということなんですけれども、具体的に何がどのぐらいというような、具体的な事業の内訳を教えてください。

○福興久信土木管理課長 答えいたします。

まず、委託料の360万円につきましては、元小浜地区と焼津駅とを、車両を委託でやりまして、移動支援という形で平日の週1回、1日7往復、年間で言うと51日分を想定して計上させていただいております。

それと負担金になりますが、負担金は予算的には140万円であります。

現在の元小浜地区の皆様の交通移動手段は自家用車が主でありますので、通勤やその他、焼津市内への移動には静岡市側を迂回して移動していることになりますので、その経費の補助として1世帯当たり約5,000円程度の給付金を支給して、現在22世帯分の予算を計上させていただいております。

以上になります。

○岡田光正委員 了解です。

○池谷和正委員長 いいですね。

○岡田光正委員 はい。

○池谷和正委員長 ほかにありませんか。

いいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○池谷和正委員長 ほかにないようですので、質疑、意見を打ち切ります。

当局の皆様、御苦労さまでした。

委員の皆さんはそのままお待ちください。

それでは、次に、討論に入ります。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○池谷和正委員長 なしということで、討論を打ち切ります。

これより順次採決をいたします。

初めに、議第55号をお諮りします。

議第55号は、これを原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○池谷和正委員長 挙手総員であります。よって、議第55号は、これを原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第56号をお諮りします。

議第56号は、これを原案のとおり可決することに賛成の委員の挙手を求めます。

(賛 成 者 挙 手)

○池谷和正委員長 挙手総員であります。よって、議第56号は、これを原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本日の予算決算審査特別委員会を閉会いたします。皆様、大変御苦労さまでした。

閉会（１１：３１）